

七戸町役場新庁舎建設基本構想策定にかかる町民ワークショップ実施報告書

①実施概要

役場庁舎を利用する町民の現庁舎に対する意見や、新庁舎に求める機能・設備等の要望を把握するために、全4回ワークショップを開催した。

日	程	第1回	令和4年11月30日(水)	18:30~19:30
		第2回	令和4年12月21日(水)	18:00~19:00
		第3回	令和5年1月17日(火)	18:00~19:00
		第4回	令和5年2月8日(水)	18:00~19:00

場	所	七戸町役場 本庁舎	2階	第1・2会議室	(第1回~3回)
		七戸中央公民館	2階	第1研修室	(第4回)

メンバー：10名

②各回の実施概要

● 第1回（参加者：9名）

次 第：1 開会

2 オリエンテーション

- ・本事業概要と今後の事業計画について
- ・現庁舎の現状、建設用地について
- ・高校生ワークショップ開催概要について

3 質疑応答

4 ワークショップ『現庁舎を利用して感じていること』

5 連絡事項

内 容：オリエンテーションでは、本事業の概要、ワークショップ開催の目的について説明を行った。実際のワークショップでは、普段庁舎を利用していて不便に感じていることや改善してほしいこと等について意見を出し合った。

『現庁舎を利用して感じていること』

班	カテゴリ	意見
A	窓口サービス 行政事務	<ul style="list-style-type: none"> ・総合案内がない ・庁内食堂、喫茶店がない ・庁舎が分かれていて不便 ・待合スペース、交流スペースとして活用できるところない？ ・職員のコストパフォーマンスが心配
	施設整備 まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の印象が暗い ・照明が暗い ・廊下が狭い ・2階への移動手段が階段のみ（本庁舎のみ） ・手すりがない ・バリアフリーが不十分 ・トイレの数が少ない ・カーポートがない ・夏は暑く、冬は寒い ・古い建物なので、ランニングコストがかかっているそう ・新庁舎ができると私たちは年を取るにつれて遠くなります ・町が見渡せない

班	カテゴリ	意見
B	窓口サービス 行政事務	<ul style="list-style-type: none"> ・近くで便利です。職員の人達の対応もすばらしいです ・カウンターに椅子がない（本庁舎2階） ・人を待ったりする場所がない ・待合スペースが狭い ・課が分かりにくい ・ワンフロアに窓口をつくり、一度に用事が足せるように ・町民が役場に来た時にゆっくりお茶を飲めるようなところ（カフェなど） ・コンビニがあれば良い ・ATMがあると便利
	施設整備 まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が広いのは良いと思う ・平屋の建物が良い。 ・年齢とともに足が弱り段差や階段の上り下りが大変です。手すりがあれば！ ・窓口に仕切りがない（プライバシー） ・段ボールや書類が廊下に多い ・トイレが寒い、便座が和式、ウォシュレットがない ・エレベーターがない ・トイレが狭い、少ない



● 第2回（参加者：7名）

次 第：1 開会

2 オリエンテーション

- ・前回の振り返り
- ・本日のテーマ及び進め方について

3 ワークショップ『新庁舎に求める機能・設備について』

4 連絡事項

内 容：第1回目で出された「現庁舎に対して感じていること」を全体で共有し、それらを踏まえて新庁舎に求める機能・設備について意見を出し合った。

『新庁舎に求める機能・設備について』

班	カテゴリ	意見
A	窓口サービス 行政事務	・手続きのワンストップ化
		・車いす専用カウンター
		・コンビニエンスストアまたは売店
		・町民が自由に使えるようなロビー
		・町民が待ち合わせできる交流スペース
		・託児所
	・総合窓口	
		・整理券発行
		・夜間休日の緊急診療所
	防犯・防災	・非常用電源（道の駅しちのへにあるような） ・免震構造
	情報システム ネットワーク	・Wi-Fi 完備 ・パブリックビューイング
	設備整備 まちづくり	・ゼロカーボン、SDGs を意識したシステム・設備・紹介コーナー ・レストランなどの食堂 ・太陽光フィルム（※） ・吹き抜けのような広さを感じる構造 ・町全体を見渡せる展望室 ・有料屋内駐車場 ・エスカレーター ・バリアフリー ・ウォシュレット付きトイレ

※太陽光フィルム：建物の壁面や窓ガラスなどに貼りつけて発電する、フィルム型の太陽光電池。変換効率や耐久性を高めて 2025 年の実用化が目指されている。

【A 班の求める新庁舎像】

- ・「窓口サービス・行政事務」の分野から、町民交流スペースの設置や自由に使えるロビーの整備など事務手続き以外にも気軽に立ち寄れる施設への要望が強いことが分かる。また、非常時の避難所としても町内のみならず、町外からの受け入れの検討してほしいとの意見も出ていた。
- ・「施設設備・まちづくり」の分野では、先進的な設備導入による企業誘致や新しいまちづくりの拠点として、新庁舎建設が町の産業発展に寄与することへの期待が感じられる。

以上のことから『誰もが気軽に立ち寄れる、まちづくりの拠点としての新庁舎』が求められているといえる。

班	カテゴリ	意見	
B	窓口サービス 行政事務	・ コンビニエンスストア	・ 休憩室
		・ 全窓口を1階フロアに設置	・ 多目的スペース
		・ 自動販売機	・ 待合スペースにカフェ
		・ 待ち時間が苦にならない、広い待合スペース	
		・ プライバシールームを設けず、普通の小部屋の方が良い	
	防犯・防災	・ 災害時、駐車場にテントを張る等の対応を可能にする ・ ヘリポート	
	情報システム ネットワーク	・ フリーWi-Fi	
	設備整備 まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧庁舎で使用した備品（椅子、テーブル等）の活用 ・ 厨房 (天間林地区には公民館内に立派な設備があるが、七戸地区にはないため。運用方法例としては、①料理教室の開催。②一人暮らしの高齢者に向けて食事提供及び交流の場を創出する。など) ・ 移住希望者へPR出来るようなコーナー ・ 断熱性のある庁舎で省エネに ・ 夏はエアコンの使用を最小限にし、自然の涼しさを取り入れる(積極的に自然エネルギーを活用) ・ 冬場の室内を暖かく ・ 天井や壁に木材を使用 ・ 可能な限り県産の木材を使用 (屋根は青、外壁は白とする。七戸町独自の、新たなランドマークとなる庁舎とする。) ・ 城下町であることから、武家屋敷風の二階建ての構造とする 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・バスやタクシーの乗降がしやすい、安全で広いスペース ・広い駐車場 ・新庁舎行きのバス ・LP ガス災害バルクの導入（※）
--	--

※LP ガス災害バルク：LP ガスを大量に備えておくバルク貯槽と、災害時でも LP ガスを安全に供給できる設備（ガスメーター、圧力調節器等）が一体になった設備。LP ガス発電機や発電機機能付き GHP、災害バルク貯槽を備えることで停電時も電源の確保が可能。公共施設、病院及び介護施設等で LP ガスによる災害対策が注目されている。

（引用：一般財団法人エルピーガス振興センター

『令和4年度版 経済産業省補助事業 LP ガス災害バルク事例集』

【B 班の求める新庁舎像】

- ・「窓口サービス・行政事務」の分野から、コンビニエンスストアの設置や待合スペースの整備、ワンフロアで手続きが済ませられるなどの利便性の向上に対する意見・要望が強いことが分かる。また、“プライバシーに配慮された空間”を設けてしまうことによって周囲の目が気になり、逆に利用しづらいのでは、という意見もあった。あえてそれらを設けないことこそが、誰もが利用しやすい庁舎につながるといえる。
- ・「施設設備・まちづくり」の分野から、地元の木材を使用する、七戸町の歴史・自然環境の活用や発信、地域活性化につながる取り組みなど、七戸町ならではの庁舎であることが求められている。

以上のことから『七戸町の良さを活かした利便性の高い新庁舎』が求められているといえる。



● 第3回（参加者：7名）

- 次 第：1 開会
 2 オリエンテーション
 ・前回の振り返り
 ・本日のテーマ及び進め方について
 3 ワークショップ『現庁舎の利活用方法』
 4 連絡事項

内 容：新庁舎建設後の現在の本庁舎と七戸庁舎について、どのような利活用方法があるか、アイデアを出し合った。

『現庁舎の利活用方法』

班	カテゴリ	意見
A	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子供や町民の作品展、ギャラリーや発表の場、ステージ。 ・起業や新商品などをアピールできるスペースを、町民は無料で。チャレンジショップ。 ・大きな音を出せるスペース（例：グランドピアノ、ブラスバンド練習、コーラスグループ作業スペース） ・公営塾。大規模に、ジュニアもシニアも、生涯学習の場。 ・一人暮らし限定、シェアハウス的なアパート ・研修施設、屋内キャンプ場 ・有効活用してくれる方々に譲る。アイデアもお任せする。
	本庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪ステーション ・剣舞伝承館（県内でこの地域にしかない。） ・七戸の歴史～今の企業までを紹介。（歴史：町が所有しているが公開する場がない、昔の道具・土器・絵画などの資料） ・物流倉庫として民間利用
	七戸庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館 ・七戸城資料館 ・歴史資料館。 <ul style="list-style-type: none"> ①七戸の誕生から昭和、階で分ける。 ②七戸の成り立ちを後世に伝える。南部時代しか知らない歴史。 ③県内の昔話の本を置く。 ④リタイア世代、中高年の交流の場。（準）学芸員としてシニアを採用。 ・七戸秋まつりの山車団地

班	カテゴリ	意見	
B	共通	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも利用できる会議室 ・需要がないのであれば、解体してしまう。 ・中学生、高校生が勉強できるスペース ・学習塾 	
	七戸庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・七戸町の歴史資料館 	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎行きのバス停
		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難所
		<ul style="list-style-type: none"> ・解体して、周辺の道路をよりシンプルに整備 	



● 第4回（参加者：8名）

- 次 第：1 開会
2 第1回から第3回までの振り返り
3 参加者感想
4 事務局よりお礼挨拶

内 容：新庁舎建設庁内検討プロジェクトチームより、リーダー・サブリーダーも出席し、これまでのワークショップの開催結果について振り返りを行った。ワークショップのメンバーからは、出された意見に対する補足や追加提案も頂き、出席者全体での理解を深めた。

【参加者の感想】※要約

- ・他の自治体に「真似したい」と思われる、先進地となるような庁舎及びまちづくりをしてほしい。
- ・自身の反省点もあるが、様々な意見に触れて大変勉強になった。
- ・七戸町には良いものが数多くあるが、町民がそれらに対して自信がないように思う。町民が自信を持てるような、「七戸らしさ」に特化した庁舎にしてほしい。何かに特化している庁舎であれば、結果的に皆さんの便利に繋がっていくと思う。
- ・大変勉強させていただいた。いい機会だった。
- ・A班とB班、町民の意見として同じような意見がある（同じように思っていることがある）ということが分かっただけでも、素晴らしいと思う。
- ・「みんなのためになるもの」であってほしい。災害が自分たちの身に降りかかったときのことを考えると、やはり最低限の設備は不可欠。町民が仲良く集える場になれば良い。
- ・新庁舎建設にあたって、需要と供給のバランスは難しいと感じる。「誰にとっても良い庁舎」ができなくとも、「誰かにとって、少しずつでも良くなった庁舎」にできれば良いと思う。
- ・皆さんから出た意見が少しでも反映されれば、嬉しく思う。